

# 令和6年度奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産地域連絡会議 国頭村の取り組み

国頭村では、持続可能な地域づくりと自然環境の保全を目指し、以下の取り組みを進めています。

## 1. やんばる3村合同ビーチクリーン活動

国頭村、大宜味村、東村のやんばる3村世界自然遺産協議会では、合同でビーチクリーン活動を実施し、地域の自然環境保全に努めています。

令和6年10月6日には「やんばる3村合同ビーチクリーンイベント2024」を開催しました。

この活動は継続的に実施されており、やんばるの森が世界自然遺産に登録されたことを受け、森だけでなく海もきれいにしようという取り組みの一環です。

地域住民や参加者の協力を得ながら、やんばるの自然環境の保護に貢献しています。

## 2. 外来種対策

外来植物対策として、環境省の事業を活用し「特定外来生物ツルヒヨドリ防除対策事業」を実施しています。

また、令和4年度からは村営林道や観光施設においても外来種の防除事業を進め、環境保全の強化に取り組んでいます。

## 3. 猫シェルターの整備

希少野生動物の保護を目的として、保護ネコ等の対策を実施しています。

捕獲された猫は一時的に收容し、飼い主の特定や返還を進めるとともに、飼い主不明の猫については譲渡の推進にも取り組んでいます。

また、今年度は11月の豪雨災害により既存の猫シェルターが被災したため、新たなシェルターの整備を進めています。

## 4. エコツーリズム推進の全体構想

国頭村では今年度より、「エコツーリズム推進全体構想」の策定に取り組んでおり、複数年かけて計画を進めています。

この構想では、以下の3つの柱を中心に進めています。

### ① 地域資源の保全と活用

やんばるの豊かな自然環境を守りながら、それを活かした持続可能な観光の仕組みの検討。

世界自然遺産の核心地域にふさわしい利用のあり方とはどのようなものか。質の高い自然体験(少人数・ガイド同行など)について与那覇岳をモデルに検討していきたい。

### ② ガイドの育成と質の向上

専門知識を持つガイドの育成を強化し、質の高いエコツアーの提供。

やんばるが提供する価値・ストーリー・テーマ

### ③ 地域振興と環境保全の両立

観光による地域経済の活性化を図りつつ、環境負荷の少ない持続可能なツーリズムの検討。